



連携サービス LanScope 連携設定マニュアル

目次

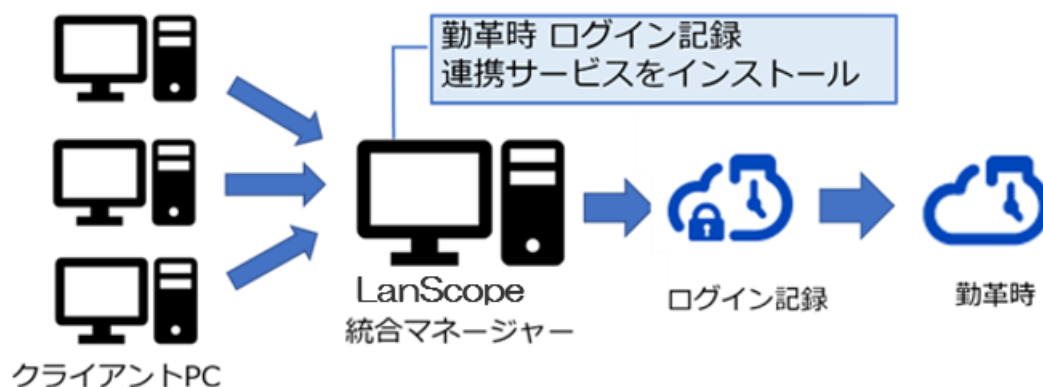
1.	LanScope と勤革時の連携について	1
1.1.	連携	1
1.2.	用語解説	1
2.	連携設定	2
2.1.	事前準備	2
2.2.	日付変更時間の設定	3
2.2.1.	勤革時の確認方法	3
2.2.2.	LanScope の確認方法	3
2.3.	連携サービスのインストール	4
2.4.	連携サービスの設定	5
2.5.	プロキシサーバーの設定	7
3.	従業員連携	9
3.1.	従業員紐づけ方法	9
3.2.	従業員の登録・削除	11
3.2.1.	従業員の新規登録	11
3.2.2.	従業員の削除	11
4.	ログの確認方法	12
4.1.	ログイン記録で確認する	12
4.2.	勤革時で確認する	12
5.	よくあるご質問	13
5.1.	ログが打刻に反映されない場合の原因と対処方法は？	13
5.2.	想定通りの打刻にならない場合の原因と対処方法は？	13
5.2.1.	勤革時の日付変更時間が LanScope 設定と異なる	13
5.2.2.	PC のユーザー名が重複している	13
5.2.3.	「任意の操作」を勤務開始/終了のタイミングで行っていない	14
5.3.	LanScope 連携サービスのアンインストール方法は？	14

1. LanScope と勤革時の連携について

連携について解説します。

1.1. 連携

クライアント PC の使用開始/終了のログを LanScope 統合マネージャーが集約し、ログイン記録を
経由して、勤革時に打刻として送ります。



※動作環境は LanScope 統合マネージャーの動作環境に準拠します。

動作環境の詳細については、MOTEX 社へご確認ください。

1.2. 用語解説

用語を解説します。

用語	説明
クライアント PC	各従業員の PC を指します。LanScope のクライアントソフトウェアがインストールされています。
LanScope 統合マネージャー	クライアント PC の使用開始/終了のログが集約され、CSV データを作成します。サーバー OS が入っている PC に統合マネージャーを設定します。
勤革時 ログイン記録 連携サービス	LanScope の統合マネージャーが作成した CSV データを、ログイン記録に送るためのアプリケーションです。統合マネージャーを設定している PC にインストールする必要があります。

2. 連携設定

連携するには以下の作業が必要です。

- ・ 事前準備
- ・ 日付変更時間の設定
- ・ 連携サービスのインストール
- ・ 連携サービスの設定
- ・ プロキシサーバーの設定

順にご案内いたします。

2.1. 事前準備

連携設定するために、企業コードとアクセストークンを用意します。

用語	説明
企業コード	勤革時にログインする際の、IDの最初の3文字もしくは6文字
アクセストークン	勤革時サポートセンターよりお送りした32桁の英数字



アクセストークンについて

勤革時お問い合わせフォームから、LanScope 利用希望の旨を送付いただくと、サポートセンターにて内部設定の切り替え後に、アクセストークンを発行・送付いたします。

2.2. 日付変更時間の設定

以下を参考に、勤革時の所属の日付変更時刻と、LanScope のログ収集の起点時刻を同じ時刻に設定してください。

2.2.1. 勤革時の確認方法

管理画面にログインし、設定 > 組織 > 所属設定 > 各所属の [編集] をクリックし、日付変更時間 をご参照ください。

※初期値は 00:00 です。

基本情報

所属コード(必須):

所属名(必須):

日付変更時間: 時 分

2.2.2. LanScope の確認方法

LanScope から提供された「勤怠簿出力.sql」をご参照ください。

※初期値は午前 05:00 です。

```
select *
from lspcat_evmr01..eventmr
where 日時 >= convert(varchar, @tmpDay, 111) + '05:00:00.000'
and 日時 < convert(varchar, dateadd(day, 1, @tmpDay), 111) + '05:00:00.000'
and イベント日時 >= convert(varchar, @tmpDay, 111) + '05:00:00.000'
and イベント日時 < convert(varchar, dateadd(day, 1, @tmpDay), 111) + '05:00:00.000'
and ログオンユーザ名 <> 'SYSTEM'
and (ログ種類 = 1 or ログ種類 = 2)
)ev01
group by /*サブマネージャno, エージェントno, */ログオンユーザ名
order by /*サブマネージャno, エージェントno, */ログオンユーザ名 asc
```



補足

LanScope のログ収集の起点時刻が「午前 05:00」の場合、当日のデータを翌朝 05:00 に収集します。このため、勤革時の各所属の「日付変更時間」も同じく「05:00」に設定する必要があります。「05:00」以外に設定すると、ログ反映時に勤革時上で別の勤務日の打刻になってしまう場合があります。

2.3. 連携サービスのインストール


LanScope 統合マネージャーが稼働している PC に、連携サービスをインストールします。

1. 以下の URL よりファイルをダウンロードします。

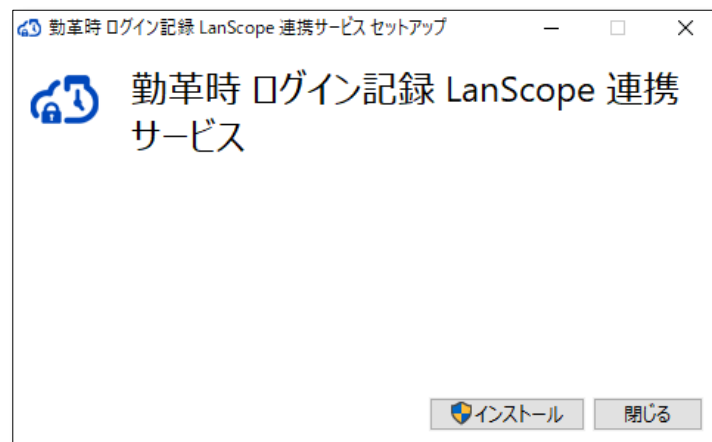
連携サービス :

<https://sl.n-kinkakuji.jp/download/KnkkjLrLanScopeCoopServiceSetup.zip>

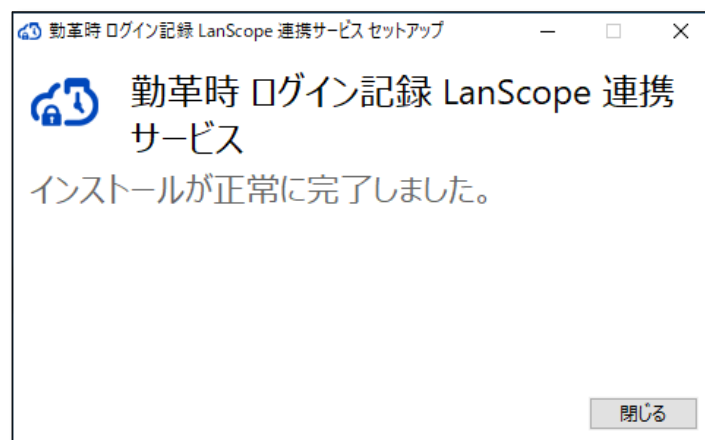
2. Zip ファイルを解凍し、「KnkkjLrLanScopeCoopServiceSetup」を実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
 KnkkjLrLanScopeCoopServiceSetup.exe	2023/12/25 11:30	アプリケーション	2,144 KB

3. 以下の画面が表示されますので、[インストール] をクリックします。ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は、「はい」をお選びください。



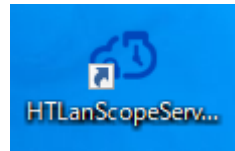
4. インストールが完了したら、「閉じる」をクリックします。



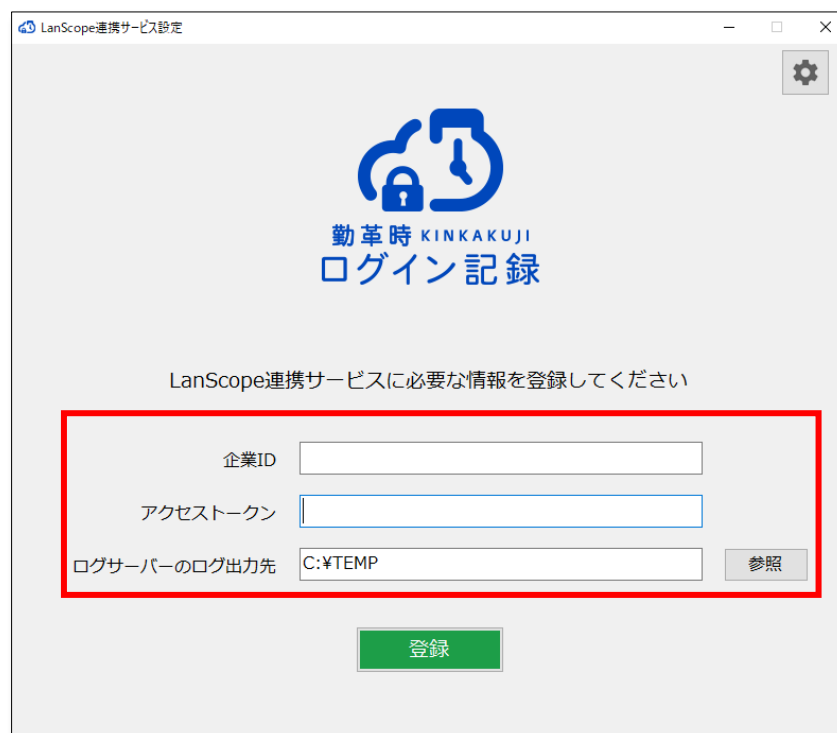
2.4. 連携サービスの設定

連携サービスに企業 ID とアクセストークン、ログサーバーの CSV 出力先パスを登録します。

1. デスクトップ上のショートカットまたはプログラム一覧から、「HTLanScopeServiceConfig」を実行します。

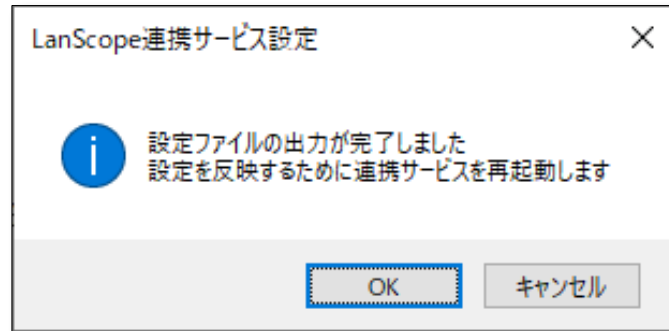


2. 企業 ID、アクセストークン、ログサーバーの CSV 出力先パスを設定し、[登録] をクリックします。

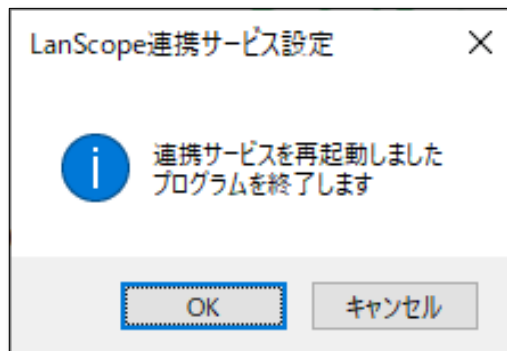


用語	説明
企業コード	勤革時の企業 ID (3 文字もしくは 6 文字) を設定します。
アクセストークン	勤革時サポートセンターよりお送りした 32 桁の英数字を設定します。
ログサーバーの ログ出力先	ログサーバーのログ出力先フォルダパスとして、LanScope より提供された「conf.ini」ファイルの「OUTPUTDIR」の値を設定します。 ※初期値は「C:¥TEMP」です。 ※ネットワークフォルダは指定できません。

3. 完了画面が表示されます。[OK] をクリックして連携サービスを再起動します。



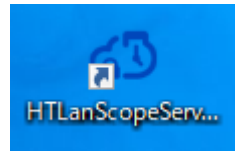
4. 再起動完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。



2.5. プロキシサーバーの設定

プロキシサーバーを使用している場合は、プロキシサーバーの設定が必要です。

1. デスクトップ上のショートカットまたはプログラム一覧から、「HTLanScopeServiceConfig」を実行します。



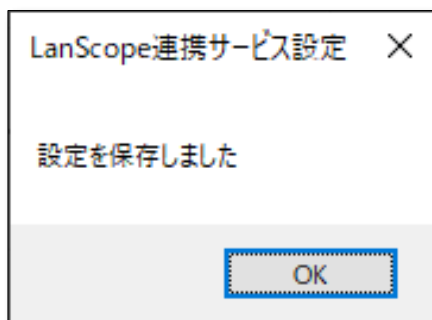
2. 歯車マークをクリックし、「設定」をクリックします。



3. 「プロキシサーバーを使用する」にチェックを入れて、プロキシサーバーアドレスとポート番号を設定します。認証が必要なプロキシサーバーを使用している場合は、「認証が必要なプロキシサーバー」にチェックを入れて、認証アカウントとパスワードを入力します。設定が終わったら、[保存する] をクリックします。



4. [OK] をクリックします。[戻る] をクリックしてメイン画面に戻ります。



3. 従業員連携

LanScope と勤革時の従業員アカウントの紐づけは、ログイン記録の管理画面から行います。

3.1. 従業員紐づけ方法

1. ログイン記録の管理画面にログインし、連携設定画面を開きます。[CSV データ保存] をクリックして、従業員データを CSV 出力します。

連携種別	打刻先アカウント	姓・名	サービスアカウント
LanScope連携	1000	勤怠 太郎	1000
LanScope連携	3000	勤怠 花子	3000

2. ダウンロードした CSV データをメモ帳などで開き、CSV データの“サービスアカウント”の値を LanScope のユーザー名（使用する PC のユーザー名）と一致するように編集します。

※ユーザー名は大文字小文字も含め、完全一致している必要があります。

連携種別	種別コード	打刻先アカウント	姓・名	サービスアカウント
LanScope連携	"2"	"1000"	"勤怠 太郎"	"1000"
LanScope連携	"2"	"3000"	"勤怠 花子"	"3000"

連携種別	種別コード	打刻先アカウント	姓・名	サービスアカウント
LanScope連携	"2"	"1000"	"勤怠 太郎"	"tarouk"
LanScope連携	"2"	"3000"	"勤怠 花子"	"hanakok"

データ編集時のご注意

CSV データを Excel で開くと、Excel の仕様により先頭の「0」が消えるなど、本来のデータと変わってしまう場合があります。このため、メモ帳などのテキストエディターで編集することをおすすめします。

PC ユーザー名 (LanScope ユーザー名) の確認方法

Windows [スタート] メニュー > 設定 > アカウント を開きます。

ユーザーの情報が表示されますので、こちらでご確認ください (ドメイン名も表示されている場合は「¥」の後ろがユーザー名です。)



3. 管理画面に戻り、[CSV データ入力] をクリックします。インポートファイル [参照] をクリック > ファイルを選択 > [送信] をクリックすると、インポートが行われます。



4. 完了後、「サービスアカウント」が変更されたことをご確認ください。

連携種別	打刻先アカウント	姓・名	サービスアカウント
LanScope連携	1000	勤怠 太郎	tarouk
LanScope連携	3000	勤怠 花子	hanakok

連携設定は以上で完了です。

“サービスアカウント” と “LanScope ユーザー” が一致した従業員にログが記録されます。

3.2. 従業員の登録・削除

従業員の登録や削除を行う際の手順を解説します。

3.2.1. 従業員の新規登録

1. 勤革時と LanScope のそれぞれに従業員を作成します。
2. ログイン記録管理画面の「ユーザー設定」タブにて、「勤革時連携」をクリックし、「連携実行」をクリックして連携します。
3. ログイン記録の管理画面から、LanScope のユーザー情報との紐付けを行います。
この際、追加分のユーザーに対してのみ入力・アップロードします。変更のないユーザーは CSV データ上から削除して構いません。CSV データに入力されているユーザーだけが更新されます（CSV アップロード時に「○件のアカウントを更新」と表示されます）。

3.2.2. 従業員の削除

1. 勤革時と LanScope それぞれで従業員を削除します。
2. ログイン記録管理画面の「ユーザー設定」タブにて、「勤革時連携」をクリックし、「連携実行」をクリックして連携します。



勤革時では従業員が削除された後、以下のメニューより該当アカウントを復活できます。

管理画面 > 設定 > 従業員 > 従業員設定 > [表示] クリック > [削除済み従業員の復帰]



4. ログの確認方法

LanScope のログが、ログイン記録と勤革時に正しく送られているかどうかを必ずご確認ください。

4.1. ログイン記録で確認する

ログイン記録の「ログ表示」画面で、ログを確認できます。

LanScope で連携されたログは、バージョンが「1.0.0.5」になります。

LanScope の「使用開始/終了」の操作が「ログオン/ログオフ」となります。



ログは、LanScope のログ収集の起点時刻（午前 05:00 など）にまとめて反映されます。詳しくは、「日付変更時間の設定」(p.3) をご参照ください。

4.2. 勤革時で確認する

勤革時上に打刻として反映されます。よく使うメニュー > 日別データにて、打刻が記録されているかどうかをご確認ください。LanScope で反映された打刻は、打刻方法に「PC」と表示されます。

日別データ ?							
表示条件の指定							
従業員:		7000 本社	100 正社員				
日付:		2019/12/17					
オプション: <input type="checkbox"/> 従業員の勤務先で表示 <input type="checkbox"/> 移動動怠 <input type="checkbox"/> 打刻集約 <input type="checkbox"/> 顔画像							
2019/12/17(火) < 今日 >							
通常		予実		通常		予実	
				カスタム		カスタム	
動怠を締める		動怠の締めを解除する		打刻編集		日別スケジュール設	
名前	タイムカード	編集	スケジュール	勤務日種別	出勤	退勤	
			通常	平日	PC 12/17 09:03	PC 12/17 18:22	

5. よくあるご質問

よくあるご質問をご紹介します。

5.1. ログが打刻に反映されない場合の原因と対処方法は？

LanScope のユーザーと勤革時の従業員アカウントが正しく紐づいていない可能性があります。「従業員紐づけ方法」(p.9)を参考に、従業員アカウントの紐づけを行ってください。

それでもログが反映されない場合の調査には、統合マネージャー上のログが必要です。統合マネージャーのログ取得方法は、MOTEX 社にお問い合わせください。統合マネージャー自体にログが記録されていない場合も、MOTEX 社にお問い合わせください。

5.2. 想定通りの打刻にならない場合の原因と対処方法は？

LanScope のログが、勤革時上で、正しい日時に記録されない場合の原因と対処方法を解説します。

5.2.1. 勤革時の日付変更時間が LanScope 設定と異なる

LanScope 統合マネージャーのログ収集のタイミングと勤革時の日付変更時間が一致していない可能性があります。「日付変更時間の設定」(p.3)を参考に、勤革時の日付変更時間と LanScope のログ収集の起点時刻を同じ時刻に設定してください。

5.2.2. PC のユーザー名が重複している

異なるユーザーが異なる PC を使用していても、それぞれの PC に LanScope のクライアントがセットされていて、PC のユーザー名が同じ場合には、LanScope 上では同一ユーザーとみなされます。それぞれの PC のログが出勤/退勤として勤革時に送られるため、意図しない記録となる可能性があります。

ユーザー名が重複している場合は、異なるユーザー名に変更して重複を解除した後、「従業員紐づけ方法」(p.9)を参考に従業員を再度紐づけてください。



ドメイン環境の PC ではユーザー名の重複はありませんが、非ドメイン環境の PC をご使用の場合は重複する可能性がありますのでご注意ください。

5.2.3. 「任意の操作」を勤務開始/終了のタイミングで行っていない

LanScope は、PC での任意の操作ログを「開始/終了」として記録する仕様になっています。これらの操作が業務開始/終了時に行われているかご確認ください。



任意の操作を開始/終了とする設定については、MOTEX 社へお問い合わせください。

5.3. LanScope 連携サービスのアンインストール方法は？

1. コントロールパネルを開きます。
2. 「プログラムのアンインストール」または、「プログラムと機能」を開きます。
3. 「勤革時 ログイン記録 LanScope 連携サービス」を右クリックし、「アンインストール」を選択します。

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
本書の内容に関しては訂正・改善のため、将来予告なしに変更することがあります。

Last Updated - 2024/2/9